

郵便はがき

670-8790

料金受取人払

姫路局承認

533

兵庫県姫路市下手野  
一丁目3番1号

グローリー工業株式会社  
総務部 アンケート係

差出有効期間  
平成17年3月31日  
まで  
(切手不要)



都道府県名	都・道 府・県		
フリガナ	年齢	性別	
お名前	才	男・女	
ご職業	役員・会社員・公務員・自営業・主婦・無職 その他( ) お差し支えない範囲でご記入下さい。		

キリトリ線

<http://www.glory.co.jp>

# GLORY REPORT

第59期中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日

**GLORY**

グローリー工業株式会社

## 株主のみなさまへ TO OUR SHARE HOLDERS

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

第59期上半期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

### 経営成績

#### 当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、堅調な輸出と設備投資の拡大に支えられ企業収益は改善し、個人消費も改善傾向の動きが見られるなど、全般的に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような一般景況のなかで、当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用子会社）は、各市場におけるきめ細かなニーズに迅速に対応するために新技術の研究と新製品の開発を推進するとともに、11月発行の新紙幣に対応した機器の増産に取り組むなど、売上高の拡大に努めました。

この結果、売上高につきましては99,196百万円（前年同期比56.1%増）と大幅な増加となりました。利益につきましては、新製品関連費用や増産に対応すべき費用は

善し、その結果、営業利益は21,532百万円（前年同期比285.8%増）、経常利益は21,454百万円（前年同期比295.1%増）、中間純利益は13,255百万円（前年同期比314.1%増）と大きく好転いたしました。

#### 通期の見通し

当社グループは貨幣処理における世界のトップブランドを目指し、当社のコア技術であるメカトロ技術、認識・識別技術およびソフトウェア技術に一層の磨きをかけることによって市場ニーズに対応した製品の開発と事業基盤の強化を強力に推し進めていく所存であります。さらに、当社コア技術に裏打ちされた各種機器を情報技術と融合させることによって、お客様にとって付加価値の高い、より広範囲なソリューションの提供に努めてまいりたいと考えております。

なお、当面の課題といたしまして、新紙幣の発行に対しては、お客様にご不便をおかけすることがないように万全の対策を実施してまいります。また、新紙幣発行による特需が一段落した後に需要の落ち込みが予想されますが、新分野・新製品開発に対して経営資源を投下するなど、将来の成長に向けて積極的に取り組む予定であります。

平成17年3月期の連結業績見通し（単位：百万円）

売上高	経常利益	当期純利益
165,000	25,000	15,500

### 経営方針

#### 経営の基本方針

当社グループは、次に掲げる経営理念の精神を踏まえ、私企業としての利益と社会の公器としての利益を追求したいと考えております。

<経営理念>

1. 個と集団の調和と発展を図る。  
部分最適と全体最適の両立を目指した経営を実践する。
2. うるおいのある人間関係を創る。  
競争と協業の両立により社内外での緊張感のある友好関係の構築に努める。
3. 広く社会の進歩発展に貢献する。  
当社グループの提供する製品・サービスを通しての社会貢献は勿論のこと、企業活動等により得られた利益の社会還元等を通じ、広く社会の進歩発展に貢献する。

#### 目標とする経営指標

当社グループは、全てのステークホルダーのみなさまとの良好な関係に基づく株主価値の向上を目指して「環境に即した最大利益の確保」ならびに「資産の健全性と効率性」を重視した経営を実践してまいります。

#### 中期的な経営戦略

当社グループは、当社コア技術であるメカトロ技術、認識・識別技術に裏打ちされた各種処理機ならびに端末機器を情報技術やアプリケーション技術と融合することによって、新たな価値の創造を図りたいと考えております。

具体的な市場戦略は、次の通りです。

- (1) 金融市場においては、当社グループならではの自動機の開発により新たな市場開拓を推進する。
- (2) 流通市場においては、貨幣処理の合理化、自動化、厳正化の流れに即した新製品の市場投入と価格対応力の強化により、事業拡大を図る。
- (3) 遊技市場においては、激しい環境変化に適應し、当社技術に裏打ちされたシステムソリューション事業を推進する。

(4) 海外市場においては、入金機市場の成長に合わせた製品戦略および販売戦略により事業拡大を実現する。

(5) 非現金による決済分野においては、当社運営の決済処理センターならびに当社グループにて蓄積してきた決済処理システムのノウハウを活用した新たな事業展開を推進する。

(6) 新事業領域においては、当社コア技術の一つである生体認証技術を活用したセキュリティー事業を立ち上げる。

#### 利益配分に関する基本方針

配当政策につきましては、株主のみなさまへの適正な利益還元に努めるとともに、環境変化に備えた収益基盤の強化ならびに将来の事業展開のため、内部留保の充実を図ります。

#### コーポレート・ガバナンスについて

当社グループでは、コーポレート・ガバナンスを経営の効率性、適法性、透明性を高めるうえでの重要課題の一つと位置づけ、これからも継続的にその機能強化に努めたいと考えております。

なお、当社のコーポレート・ガバナンスの状況は次の通りです。

(1) 当社取締役会は16名の取締役で構成され、重要な経営方針の決定ならびに業務執行の監督を行っています。

(2) 当社は監査役制度を採用しております。なお、当社監査役会は、社外監査役2名を含む4名の監査役で構成されております。また、監査役は取締役会ならびに各種会議に出席し、意見を述べるとともに、業務執行に対する適正な監査を行っています。

(3) コンプライアンスにつきましては、グループコンプライアンス担当役員を配置し、各社役職員に対する啓蒙活動の強化と各種法令遵守の徹底に努めております。さらに体制の充実強化を図るため、コンプライアンス体制構築プロジェクトチームを発足させ、体制の再構築と企業倫理綱領の策定に取り組んでおります。

(4) 内部統制につきましては、法令ならびに手続きの遵守と経営効率の向上を徹底するため社長直属の専任部署として監査室を設置し、全部門を対象にした業務監査を計画的に実施しております。

また、監査結果をトップマネジメントに報告するとともに、監査結果に基づく改善指導、改善の進捗状況報告を通して実効性のある監査を行っています。

今後とも、株主のみなさまには、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

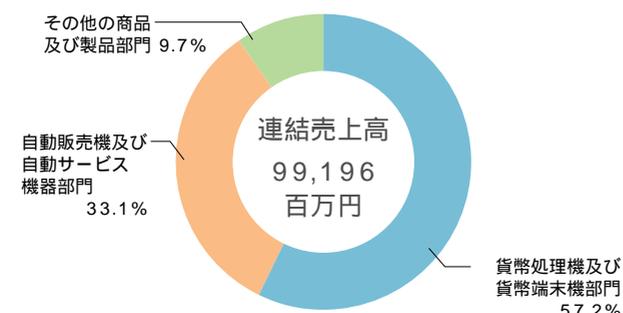
平成16年12月



取締役社長 西野 秀人

## 部門別概況(連結)

### BUSINESS RESULTS BY SEGMENT



貨幣処理機及び貨幣端末機部門	56,696百万円
自動販売機及び自動サービス機器部門	32,847百万円
その他の商品及び製品部門	9,652百万円
売上高 合計	99,196百万円

#### 貨幣処理機及び貨幣端末機部門

売上高は、56,696百万円（前年同期比66.0%増）となりました。また、売上高および生産高が増加し、営業利益は14,554百万円（前年同期比309.0%増）と大幅に増加いたしました。

##### 金融市場

金融機関の設備投資が11月発行の新紙幣に対応可能な機器の先行需要中心となっているため、新紙幣対応の機器であるオープン出納システムの販売やOEM商品で金融機関の窓口用機器である紙幣および硬貨入金機の販売が大幅に増加いたしました。さらに、合理化機器である硬貨包装機や紙幣計算機の販売も順調でした。

##### 流通市場

正確性や利便性の高い機器として好評を得ているスーパー・小売店向けのレジ釣銭機はコンパクト化傾向にあり、販売数量は増加したものの、額は若干減少いたしました。

一方、集配金サービスを拡大展開している警備保障会社向けの売上入金機やスーパー・量販店の出納の省人化機器である小型入金機の販売は順調に増加いたしました。

##### 海外市場

欧州向けやアジア向けの紙幣入金機の販売は大幅に増加いたしました。また、米国向けやアジア向けの紙幣整理機、欧州向けの紙幣入金機の出金機も増加いたしました。

#### branch station system WAVE - 720シリーズ

新紙幣に対応の新型WAVE。従来機よりもコンパクトで、操作性も向上。小型店舗のオープン出納を強力にバックアップします。



#### 海外向け紙幣入金機 RZ - 100



スリムでコンパクトな海外の金融機関向けの紙幣入金機。8種類に対応し、入金リサイクル、一時保留機能など、機能面も充実した人気機種です。

#### 自動販売機及び自動サービス機器部門

売上高は、32,847百万円（前年同期比54.8%増）となりました。また、売上高および生産高が増加し、営業利益は5,988百万円（前年同期比410.2%増）と大幅に増加いたしました。

##### 遊技市場

店舗の大型化や店舗内改装が増加するなど投資意欲が回復しており、新紙幣対応が可能な台間紙幣メダル貸し機や紙幣両替機の販売は大幅に増加いたしました。また、景品自動払出機も、景品交換業務の合理化機器として前期に引き続き好評であり販売は堅調でありました。

##### 自動販売機市場

商品ラインナップの充実や焦点を絞った拡販策などによる需要の喚起で券売機の販売は大きく増加いたしました。また、たばこ販売機も市場が飽和状態であるにもかかわらず、買い替え需要で販売は増加いたしました。

##### 金融・流通市場

紙幣両替機につきましては、金融機関における両替業務の有料化の動きに加え、新紙幣対応の需要もあり、販売が大幅に増加いたしました。

#### その他の商品及び製品部門

売上高は、9,652百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益は997百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

当部門は、部分品、取付具、付属品およびその他商品が主なものであり、新紙幣対応の改造需要を含めて、販売は増加いたしました。

#### FeliCa対応 ICカード企業内食堂システム ICカードリーダーライター PFP - 20



ICカードをかざすだけで、利用代金を瞬時に決済。ICカードならではの高性能・多機能を活かし、給与天引き等の後払い決済、プライベート型決済の両方に対応します。企業内食堂運営の一層の合理化と利用者の利便性の向上に貢献します。

#### 高速ドキュメントカラーキャナ FU - 300



金融機関によってサイズや紙質が異なる口座振替依頼書を一括処理できる高速カラーキャナ。手書きの名前や口座番号、印影などを瞬時にチェックし、通番印字や自動区分けも可能。

## 中間決算報告(連結)

### CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENT

#### 中間連結貸借対照表

科 目	当中間期	前中間期
	平成16年 9月30日	平成15年 9月30日
<b>資産の部</b>		
流動資産	152,318	120,050
現金及び預金	70,013	52,905
受取手形及び売掛金	50,944	31,961
有価証券	879	879
たな卸資産	24,055	29,335
繰延税金資産	5,147	2,922
その他	1,396	2,213
貸倒引当金	119	168
固定資産	57,184	53,463
有形固定資産	34,301	34,503
建物及び構築物	13,163	13,737
土地	12,337	12,658
その他	8,800	8,107
無形固定資産	2,800	3,254
投資その他の資産	20,081	15,705
投資有価証券	8,468	7,123
繰延税金資産	4,206	3,739
その他	7,410	4,854
貸倒引当金	3	11
資産合計	209,503	173,513

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成16年 9月30日	平成15年 9月30日
<b>負債の部</b>		
流動負債	60,385	51,991
支払手形及び買掛金	17,919	19,293
短期借入金	18,661	18,637
未払法人税等	6,829	1,546
賞与引当金	6,050	3,928
その他	10,924	8,586
固定負債	8,557	7,447
退職給付引当金	7,287	6,200
役員退職引当金	1,204	1,139
その他	65	107
負債合計	68,943	59,438
<b>資本の部</b>		
資本金	12,892	12,892
資本剰余金	20,629	20,629
利益剰余金	106,240	80,230
その他有価証券評価差額金	1,035	590
為替換算調整勘定	131	165
自己株式	106	103
資本合計	140,560	114,074
負債資本合計	209,503	173,513

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成16年 4月1日から 平成16年 9月30日まで	平成15年 4月1日から 平成15年 9月30日まで
売上高	99,196	63,526
売上原価	58,165	41,171
売上総利益	41,031	22,355
販売費及び一般管理費	19,498	16,773
営業利益	21,532	5,581
営業外収益	586	305
受取利息	30	27
受取配当金	106	59
持分法による投資利益	39	42
賃貸収入	32	32
連結調整勘定償却額		37
退職給付制度一部終了益	114	
為替差益	59	
その他	203	106
営業外費用	664	456
支払利息	134	125
たな卸資産廃却損	479	247
為替差損		67
その他	50	16
経常利益	21,454	5,430
特別利益	109	248
固定資産売却益	14	4
貸倒引当金戻入額	90	
投資有価証券売却益	0	243
その他	4	
特別損失	307	174
固定資産除却損	223	119
投資有価証券評価損	10	36
その他	74	18
税金等調整前中間純利益	21,256	5,504
法人税、住民税及び事業税	7,242	1,876
法人税等調整額	759	407
少数株主利益(減算)		19
中間純利益	13,255	3,200

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成16年 4月1日から 平成16年 9月30日まで	平成15年 4月1日から 平成15年 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,041	912
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,998	1,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	549	624
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	29
現金及び現金同等物の増減額(減少：)	4,552	1,487
現金及び現金同等物の期首残高	65,997	54,924
現金及び現金同等物の中間期末残高	70,549	53,436

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間決算報告(単体)

### NON-CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENT

#### 中間貸借対照表

科 目	当中間期	前中間期
	平成16年 9月30日	平成15年 9月30日
<b>資産の部</b>		
流動資産	97,681	76,449
現金及び預金	38,158	25,787
受取手形	56	54
売掛金	36,856	25,443
有価証券	879	879
たな卸資産	16,287	21,555
短期貸付金	557	560
繰延税金資産	1,938	905
その他	2,952	1,266
貸倒引当金	7	5
固定資産	43,366	41,230
有形固定資産	22,093	22,291
建物	8,603	8,915
土地	7,754	8,177
建設仮勘定	178	149
その他	5,556	5,049
無形固定資産	1,192	1,421
投資その他の資産	20,081	17,517
投資有価証券	14,774	13,665
長期貸付金	98	188
繰延税金資産	2,077	2,078
その他	3,130	1,584
貸倒引当金	0	0
資産合計	141,048	117,679

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成16年 9月30日	平成15年 9月30日
<b>負債の部</b>		
流動負債	28,328	24,145
支払手形	5,793	6,894
買掛金	6,813	8,254
短期借入金	3,710	3,910
未払法人税等	5,460	289
賞与引当金	2,475	1,810
その他	4,076	2,986
固定負債	4,437	4,091
退職給付引当金	3,920	3,617
役員退職引当金	517	474
負債合計	32,766	28,236
<b>資本の部</b>		
資本金	12,892	12,892
資本剰余金	20,629	20,629
資本準備金	20,629	20,629
利益剰余金	74,010	55,599
利益準備金	3,223	3,223
任意積立金	56,618	46,641
中間未処分利益	14,169	5,734
その他有価証券評価差額金	855	423
自己株式	106	103
資本合計	108,281	89,442
負債資本合計	141,048	117,679

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### 中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成16年 4月1日から 平成16年 9月30日まで	平成15年 4月1日から 平成15年 9月30日まで
売上高	63,779	38,166
売上原価	46,312	30,710
売上総利益	17,467	7,455
販売費及び一般管理費	4,912	3,814
営業利益	12,554	3,641
営業外収益	3,582	1,793
受取利息	7	9
受取配当金	3,223	1,572
賃貸収入	170	170
その他	180	40
営業外費用	358	393
支払利息	18	17
賃貸原価	87	104
部品廃却損	244	188
その他	8	83
経常利益	15,777	5,040
特別利益	8	259
特別損失	144	87
税引前中間純利益	15,641	5,212
法人税、住民税及び事業税	3,417	580
法人税等調整額	841	927
中間純利益	11,382	3,705
前期繰越利益	2,786	2,029
中間未処分利益	14,169	5,734

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ユーロ圏事業を拡大へ！

ドイツの貨幣処理機メーカー  
ライスユーロシステムズの経営権を譲受け



調印式終了後の両社の代表者

当社は、平成16年7月30日付けでドイツの貨幣処理機メーカー等を傘下に持つ持株会社Reis Eurosystems AG（以下、「ライス」）の経営権を譲受けました。

ライスは、ドイツ ブルフザル市に拠点を置き、ドイツ国内に貨幣処理機的设计・製造・販売・保守会社等合計8社を擁しています。ライスグループの売上高は年間約20億円で、ドイツ国内の貨幣処理機の約2割を占めています。

当社がすでにドイツに置く販売会社Glory GmbHの販売網に、ライスグループの直接販売網やアフターサービス

網を加えることにより、ドイツ市場における売上拡大を図ります。また、ライスグループの開発・生産拠点を活用することにより、欧州地区における市場のニーズにより迅速かつ的確に対応できる体制を構築し、ユーロ圏全体での事業拡大を加速させてまいります。さらに、ライスグループが持つグローリーの補完製品をグローリーの販売ネットワークで世界の国々に展開し、海外事業の拡大を図ってまいります。

1966年に海外販売を開始して以来40年弱の間に、当社は北米、欧州、東南アジア、オセアニアなど諸外国に各



種貨幣処理機を販売してまいりました。その売上高は、平成16年3月期の連結決算で116億円（総売上高の6.6%）となりました。今後、一層の海外事業の拡大を図るために、グループをあげて取り組んでまいります。



ライスユーロシステムズ 本社ビル

## 1枚の社員証が、新しいオフィス環境を。

ビジネスもプライベートもサポート。  
社内にICカードトータルシステムを導入。

当社は、近年急激に拡大する非接触型ICカードを活用した“ICカードトータルシステム”を開発し、平成16年10月1日より社内に導入いたしました。電子マネーなどに活用できるICカードを社員証に採用し、勤怠管理、入退室管理、出張旅費精算、社内の鍵管理、社員食堂や自動販売機の代金精算まで、すべてこの社員証1枚で行なうことが可能です。

近年ICカードの発展には目覚ましいものがありますが、当社はその市場動向をいち早くつかみ、対応する製品の開発と市場展開を行なってまいりました。このたび社内へ導入したシステムもその一つです。

新しい社員証は、社内での各種機能に加え、コンビニエンスストアやコーヒーショップなどでの代金支払いに使える電子マネー“Edy”カードとしても利用できます。また、当社が独自開発したバイオメトリクス認証技術による顔照合システムを組み合せ、特殊エリ

入金機  
社員証に、現金をチャージ。



勤怠管理

出勤・入退室などの管理を、より簡単に、正確に。

入退室管理



Relax

社員食堂

食器を置いたトレーを、オートレジに置くだけで決済。



Business

Private

自動販売機

たばこや飲料も、社員証で購入。



買い物

社外では、Edyカードとして買い物等に利用。

Edyは、ビットワレット株式会社の提供する電子マネーサービスです。

アにおいて

は、社員証に記憶

している社員の顔写真情報と入

室者の顔を照合する、より厳格な入退室管理システムを構築しております。

今後、これらのシステムの利便性や有効性を自社内で実証し、商品として

の一層のレベルアップを図りたいと考えております。そして、お客様に最適な、より充実したシステムをご提供し

てまいります。

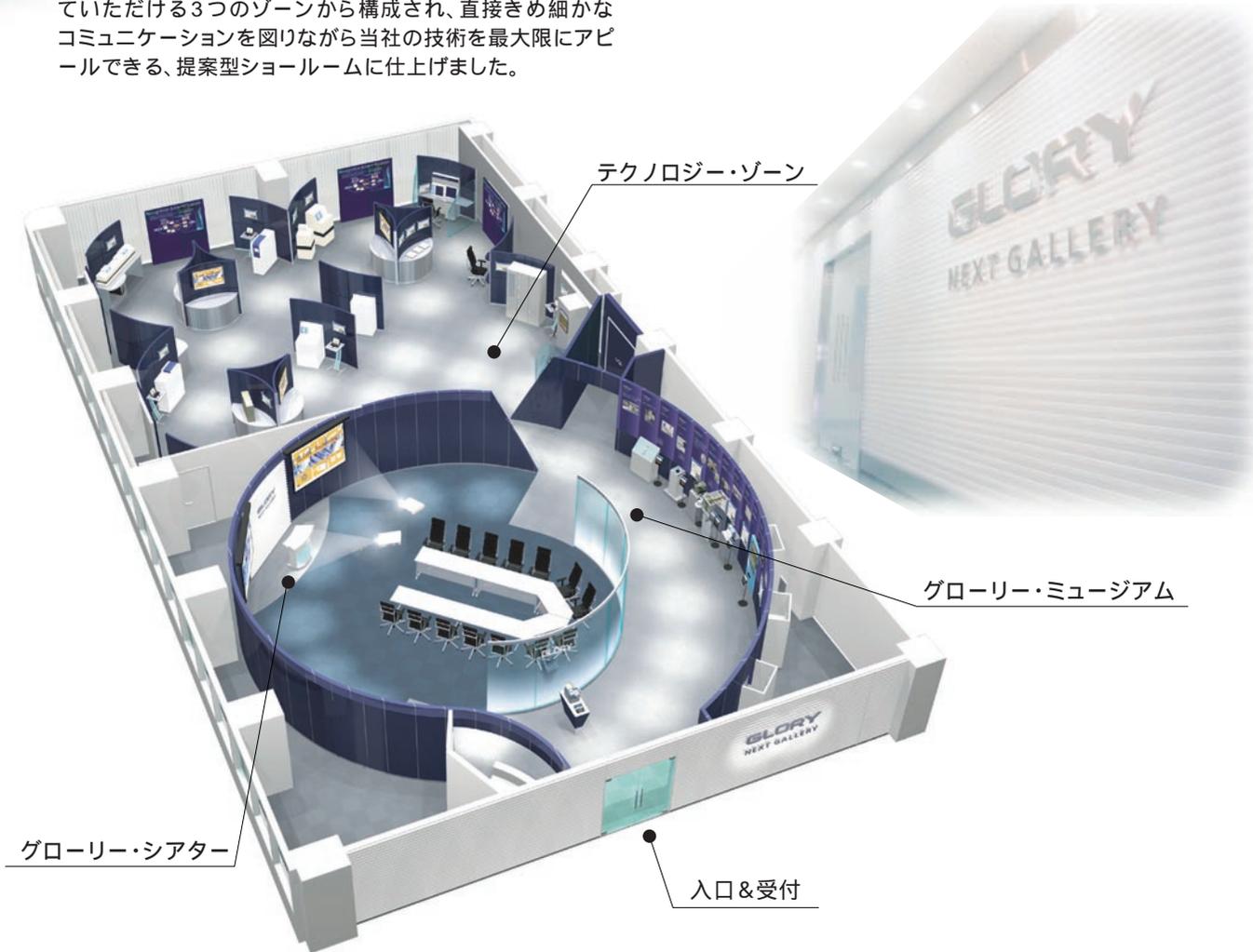
# GLORY NEXT GALLERY

ニューコンセプトショールーム誕生。  
過去、現在、そして未来へ

新しいショールーム“GLORY NEXT GALLERY”がオープンいたしました。

グローリーの先進の技術を、歴史や製品を通して体感していただける3つのゾーンから構成され、直接きめ細かなコミュニケーションを図りながら当社の技術を最大限にアピールできる、提案型ショールームに仕上げました。

今後、“GLORY NEXT GALLERY”を通して、みなさまにグローリーの技術をご理解いただき、多様化するニーズを解決できる次世代の製品開発に結び付けてまいります。



## グローリー・シアター

当社のプロフィールや代表的な技術を紹介する映像、個々の製品をプレゼンテーションする多目的スペース。100インチのダブルスクリーンで大迫力の映像をお楽しみいただけます。



## グローリー・ミュージアム

当社の企業発展の歩みを、パネル等でご紹介。硬貨計数機やたばこ販売機など、国内初の製品を数多く世の中に送りだしてきたユニークな技術開発の歴史を振り返ります。



国産第一号の硬貨計数機

## テクノロジー・ゾーン

認識・識別・メカトロニクスといったコア技術をご紹介するゾーン。当社成長の源となる最新のテクノロジーを、実際に見て、触れて、体験していただけます。

### A. メカトロニクス Mechatronics

お金や情報の“真偽”を瞬時に見分けることができる「センシング技術」と、数える・仕分ける・束ねるといふ、まるで人間の手のような細かな動きを再現する「メカトロニクス技術」をご紹介します。

### B. 認識・識別 Recognition / Identification

手形や帳票など各種書類の事務処理を簡素化する「文字認識技術」、印鑑・サインなどによる本人確認を迅速かつ正確に行なう「イメージ認識技術」をメインにご紹介。さらに、本人確認やセキュリティ確保などの分野で、今後ますます用途や需要の拡大が期待できる「顔照合」、「指紋照合」など、最先端の「バイOMETRICS技術」もご紹介しています。

### C. メディア機器 Media Technology

ICカードへの現金チャージなど、進化する電子マネー決済をはじめ、あらゆるカード分野において優れた決済ソリューションを提供する「メディア技術」をご紹介します。

### D. トピックス Topics

最新技術や、社会的に注目度の高い新製品などをご紹介します。

ショールームについてのお問合せは  
兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号  
グローリー工業株式会社 総務部  
TEL 0792-97-3131  
まで。

## 株式の状況 (平成16年 9月30日現在)

### STOCK INFORMATION

#### 株式の状況

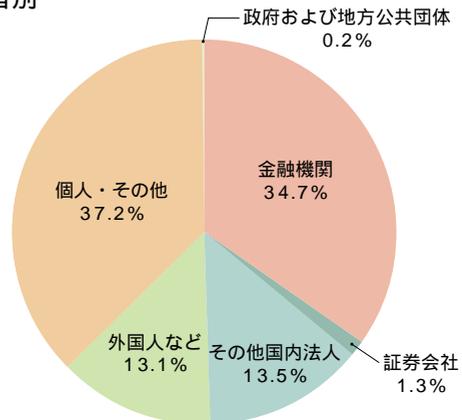
会社が発行する株式の総数	128,664,000株
発行済株式の総数	74,236,210株
株主数	23,060名
	(前期末比 2,776名増)

#### 大株主

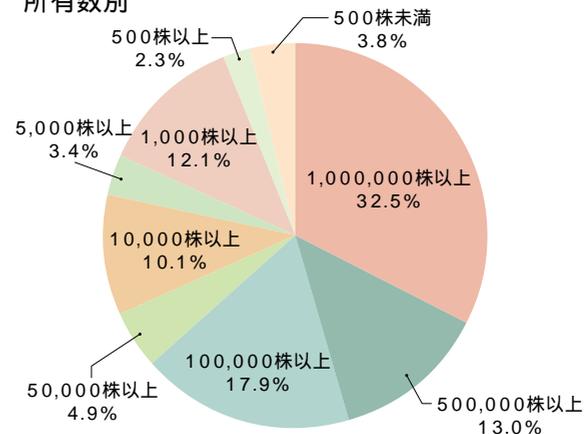
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	4,058	5.5
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	3,049	4.1
龍田紡績株式会社	2,939	4.0
株式会社三井住友銀行	2,491	3.4
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	2,414	3.3
ザチエースマンハッタンバンク エヌエイロンドン	2,194	3.0
有限会社オノエインター ナショナル	2,018	2.7
有限会社ウイニング	1,818	2.5
第一生命保険相互会社	1,715	2.3
グローリーグループ 社員持株会	1,411	1.9

#### 株式分布状況

##### 所有者別



##### 所有数別



## 会社の概要 (平成16年 9月30日現在)

### COMPANY PROFILE

#### 会社の概要

商号	グローリー工業株式会社 GLORY LTD.
設立	昭和19年11月27日
資本金	12,892,947,600円
ホームページ	<a href="http://www.glory.co.jp">http://www.glory.co.jp</a>
従業員数	連結 5,097名 単体 1,792名

#### 事業所

本社・姫路工場  
〒670-8567  
兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号  
TEL (0792)97-3131(代表)  
FAX (0792)94-6233

東京本部  
〒141-8581  
東京都品川区大崎五丁目4番6号  
TEL (03)3495-6301(代表)

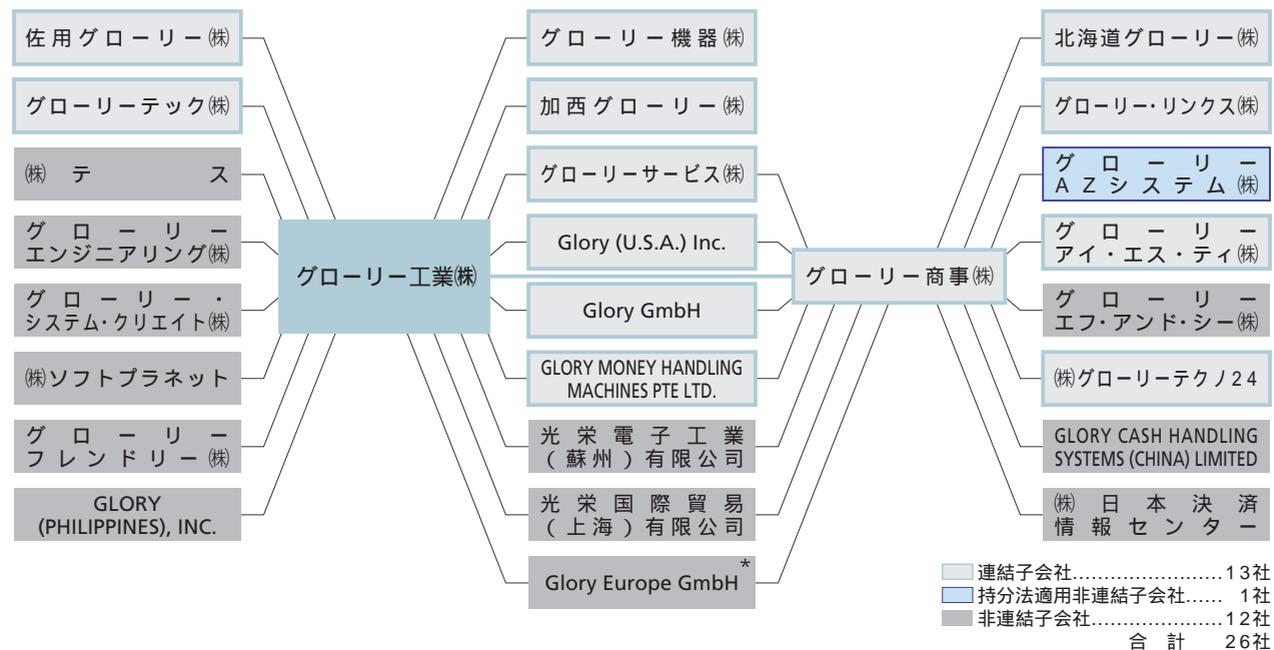
埼玉工場  
〒347-0004  
埼玉県加須市古川二丁目4番地1  
TEL (0480)68-4661(代表)

#### 役員

*取締役会長	尾上 壽 男
*取締役社長	西野 秀 人
取締役副社長	尾上 勝 彦
専務取締役	村上 雅 俊
専務取締役	牛尾 允 俊
常務取締役	大上 邦 弘
常務取締役	松岡 則 重
常務取締役	船引 祐 一
常務取締役	尾上 広 和
取締役	松下 秀 明
取締役	石堂 知 明
取締役	太田 幸 一
取締役	田中 修 徹
取締役	吉岡 徹 雄
取締役	尾上 佳 雄
常勤監査役	龍田 信 也
常勤監査役	有吉 透 三
監査役	浦川 輝 三
監査役	上羽 昭 夫
監査役	安平 和 彦

\*印は、代表取締役であります。

## グループ会社（平成16年11月17日現在）



\* Reis Eurosystems AG は、平成16年11月17日付けで、Glory Europe GmbH に社名変更いたしました。

## 株主メモ

決算期	3月31日	名義書換代理人	株式会社だいこう証券ビジネス
定時株主総会	6月中	同事務取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
基準日	定時株主総会 3月31日		株式会社だいこう証券ビジネス
	利益配当金 3月31日		本社証券代行部
	中間配当金 9月30日	お問合せ先	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
	その他必要があるときは、あらかじめ		株式会社だいこう証券ビジネス
	公告して定めます。		本社証券代行部
1単元の株式の数	100株		(各種お問合せ) ☎ 0120-255-100 (無料)
上場証券取引所	東京、大阪		(お手持用紙ご請求) ☎ 0120-351-465 (無料)
証券コード	6457		(ホームページ) <a href="http://www.daiko-sb.co.jp">http://www.daiko-sb.co.jp</a>
公告掲載新聞	日本経済新聞	同取次所	株式会社だいこう証券ビジネス
	なお、第58期より、決算公告に代えて、		全国各支店
	貸借対照表および損益計算書を当社の	単元未満株式の	単元未満株式(100株未満の株式)の買取請求および
	ホームページに掲載しております。	買取請求および	買取請求は、上記の名義書換代理人にてお取り扱い
	<a href="http://www.glory.co.jp">http://www.glory.co.jp</a>	買取請求	しております。株券保管振替制度をご利用されている
			場合は、お取引の証券会社にお申し出下さい。

## アンケートのお願い

該当する番号に をお付け下さい。

- Q1 当社にどのような魅力を感じて株式を購入されましたか。  
a.安定成長への期待 b.業界における地位・優位性  
c.財務内容 d.配当利回り e.事業内容 f.将来性 g.経営者  
h.その他( )
- Q2 今後、当社に最も望まれることは何ですか。(2つお答え下さい。)  
a.自社株の消却 b.安定配当 c.業績連動配当 d.株主優待制度の導入  
e.株式分割 f.その他( )
- Q3 当社の強み・弱みについて、どのようなイメージをお持ちですか。  
**強み** a.成長性 b.安定性 c.技術力 d.歴史・伝統 e.開発力  
f.品質 g.経営陣 h.経営戦略 i.株主重視の姿勢  
j.その他( )  
**弱み** a.成長性 b.安定性 c.技術力 d.歴史・伝統 e.開発力  
f.品質 g.経営陣 h.経営戦略 i.株主重視の姿勢  
j.その他( )
- Q4 本誌の内容で、興味をお持ちになられたのはどの項目ですか。  
a.全体の読みやすさ b.全体のわかりやすさ c.「株主のみなさまへ」  
d.「部門別概況」 e.「中間決算報告」 f.「トピックス」  
g.「株式の状況・会社の概要・グループ会社・株主メモ」  
h.その他( )
- Q5 情報提供手段として、どのようなものを期待されますか。  
a.ホームページ b.事業報告書 c.投資家向け説明会  
d.証券会社からの情報 e.決算短信 f.有価証券報告書  
g.その他( )
- Q6 その他、当社に対するご意見・ご要望があればお聞かせ下さい。

ご協力ありがとうございました。

キリトリ線

【個人情報の収集・使用について】  
当アンケートハガキに記載していただきますお名前などの個人情報は、  
アンケート集計以外では使用いたしません。